

学年:	3年生	Stage:	Stage II	コード:	S3301	単位:	1.3
モジュール名	予防歯科学			科目担当責任者	山本 龍生		
モジュール名(英字)	Preventive Dentistry			コース名	SSD 社会歯科医療系		
一般目標(GIO)	歯科口腔保健を推進するための基礎的知識を体系的に理解し、科学的根拠に基づいて患者個人および地域社会における歯科口腔保健活動へ応用するための方法論を修得する。実習では、科学的根拠に基づき、臨床予防歯科および歯科公衆衛生活動を推進するために必要な知識と技能を修得する。						
ユニット:一般目標	1. プラークコントロール 口腔細菌の病原性を理解し、プラークコントロールの意義、方法、種類およびそれぞれの特徴について、指導に活かせるよう修得する。 2. う蝕の予防 う蝕の病因を理解した上で、科学的根拠に基づいた指導ができるよう、う蝕予防の方法および理論を修得する。 3. 地域口腔保健 ライフステージに応じた歯科口腔保健指導が実践できるよう、関連する国の制度を含め、地域口腔保健の体系および具体的方法を修得する。 4. 予防歯科学実習 予防歯科の実践に必要な基本的知識および技術について、実習を通じて修得する。 5. 歯周病の予防 歯周病の病因を理解した上で、科学的根拠に基づいた指導ができるよう、歯周病予防の方法および理論を修得する。 6. 口臭およびその他の口腔疾患の予防並びに禁煙支援 口臭およびその他の口腔疾患の予防、ならびに禁煙支援について、公衆衛生および臨床の現場で活用できるよう、理論および方法を修得する。 7. 口腔疾患の疫学 口腔疾患の疫学について、関連する調査方法およびその結果の解釈を踏まえて修得する。						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP1,CP2,CP3
	- / b / b	a / - / a	a / a / c		
a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目					
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど					
教 1/ 口腔保健・予防歯科学 第2版/ 安井利一ほか/ 医歯薬出版 教 1/ 講義資料/ 各講義担当者/ オリジナル					

評価方法

出 欠 席	正当な理由による欠席については、オンラインによる補完授業を実施する。なお、実習の欠席に対しては補完授業を実施しない。					
モジュール試験(%)	80	客観試験とする。				
アクティビティ(%)	20	アクティビティ評価は、実習におけるレポートおよび受講態度により行う。実習を欠席した場合は、代替として別途レポートの提出を求め、その評価の上限は15%とし、受講態度は評価対象としない(0%とする)。				
アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
			15		5	
再試験の評価方法	アクティビティ評価はそのまま適用し、モジュール再試験の成績と合わせて総合評価を行う(評価比率はモジュール本試験の場合と同様とする)。					
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。					
アクティブラーニング	該当					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_001_6/1_2	2026/06/01	2		講義	32番教室	60
ユニット	ブラークコントロール					
サブユニット	口腔細菌の病原性					
授業目標	1)予防歯科学を学ぶ意義を説明できる。 2)ペリクルを説明できる。 3)口腔バイオフィルムを説明できる。 4)ブラークを説明できる。 5)舌苔を分類できる。 6)歯石を説明できる。 7)その他の沈着物を説明できる。 8)ブラークコントロールを分類できる。					
キーワード	ペリクル、口腔バイオフィルム、歯肉縁上ブラーク、歯肉縁下ブラーク、ブラークの形成機序、ブラークの病原性、舌苔、歯肉縁上歯石、歯肉縁下歯石、外因性着色、内因性着色、ブラークコントロールの分類					
担当	山本 龍生					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p16～34、p171～174					
コアカリ(令和4年)	D-3-2-4					
国試出題基準(令和5年)	必修3-I-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_002_6/1_3	2026/06/01	3		講義	32番教室	60
ユニット	ブラークコントロール					
サブユニット	ブラッシング法					
授業目標	1)手用歯ブラシの特徴を説明できる。 2)歯ブラシの刷掃面と毛先の形態を分類できる。 3)電動歯ブラシの特徴を説明できる。 4)毛先を用いたブラッシング方法を説明できる。 5)脇腹を用いたブラッシング方法を説明できる。 6)デンタルフロスによる清掃方法を説明できる。 7)歯間ブラシによる清掃方法を説明できる。 8)タフトブラシに清掃方法を説明できる。 9)舌苔の清掃方法を説明できる。					
キーワード	手用歯ブラシ、ブラッシング、垂直法、水平法、スクラビング法、フォーンズ法、バス法、つまようじ法、ローリング法、スティルマン改良法、チャーターズ法、電動歯ブラシ、デンタルフロス、フロッシング、歯間ブラシ、歯間刺激子、口腔洗浄器					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p174～180					
コアカリ(令和4年)	E-5-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修3-U-b,必修3-U-c,必修3-I-a,各論II-1-I-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_003_6/1_4	2026/06/01	4		講義	32番教室	60
ユニット	ブラークコントロール					
サブユニット	歯磨剤、洗口剤					
授業目標	1)歯磨剤の分類と成分を説明できる。 2)化粧品歯磨剤の効能効果を説明できる。 3)医薬部外品歯磨剤の効能効果を説明できる。 4)洗口剤の分類と成分を説明できる。 5)洗口剤の効能効果を説明できる。					
キーワード	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、化粧品、医薬部外品、研磨剤、保湿剤、粘結剤、発泡剤、香味剤、薬効成分(う蝕予防、歯周病予防、口臭予防、歯石沈着予防、知覚過敏緩和、フッ化物、デキストラナーゼ、クロルヘキシジン)、洗口液(洗口剤)、義歯洗浄剤					
担当	宋 文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p181～183					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-2					

国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ-c,必修3-E-a,各論Ⅱ-1-イ-e
--------------	---------------------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_004_6/3_2	2026/06/03	2		講義	32番教室	60
ユニット	ブラークコントロール					
サブユニット	口腔清掃指導、プロフェッショナルケア					
授業目標	1)口腔清掃を動機づけすることができる。 2)歯垢染色剤を説明できる。 3)ライフステージごとの口腔清掃の留意点を説明できる。 4)患者の特徴に見合ったブラッシング方法を指導できる。 5)ブラッシング後のみがき残しを評価できる。 6)専門的清掃を説明できる。 7)PMTCを説明できる。					
キーワード	ブラークコントロールの動機付け(モチベーション)、口腔清掃状態の評価、歯垢染色剤、ライフステージ別の口腔清掃指導、PTC、PMTC、歯面研磨材					
担当	宋 文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p97~105、p180~181					
コアカリ(令和4年)	E-5-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_005_6/3_3	2026/06/03	3		講義	32番教室	60
ユニット	ブラークコントロール					
サブユニット	口腔清掃状態の指標					
授業目標	1)OHI、OHI-Sを説明できる。 2)PIIを説明できる。 3)PHPを説明できる。 4)OLearyのPCRを説明できる。 5)各種指数によって口腔清掃状態を評価できる。					
キーワード	OHI、OHI-S、PII、PHP、PCR					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p130~134					
コアカリ(令和4年)	C-6-1-3					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅰ-6-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_006_6/3_4	2026/06/03	4		講義	32番教室	60
ユニット	ブラークコントロール					
サブユニット	飲食					
授業目標	1)歯の形成に必要な栄養素を説明できる。 2)食品の齲蝕誘発性を説明できる。 3)食品の潜在脱灰能を説明できる。 4)食品の齲蝕抑制因子を説明できる。 5)代用甘味料と特定保健食品を説明できる。					
キーワード	酸産生能、スクロース、グルコース、フルクトース、ラクトース、マルトース、でんぷん、食品の潜在脱灰能、清掃性食品、停滞性食品、Stephanのカーブ、Hopewood House研究、代用甘味料、キシリトール、ソルビトール、マンニトール、マルチトール、オリゴ糖、パラチノース、カップリングシュガー、非糖質系甘味料、アスパルテーム、サッカリン、ステビオサイト					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p41~46、p191~196					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-1					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_007_6/15_2	2026/06/15	2		講義	32番教室	60
ユニット	齲蝕の予防					
サブユニット	齲蝕の病因と予防手段					
授業目標	1)齲蝕の定義と進行論を説明できる。 2)齲蝕発生の3大(4大)要因モデルを説明できる。 3)齲蝕発生における宿主と歯の要因(宿主要因)を説明できる。 4)齲蝕発生における微生物の要因(病原要因)を説明できる。 5)齲蝕発生における飲食物の要因(環境要因)を説明できる。 6)齲蝕発生における生活環境の要因(環境要因)を説明できる。 7)齲蝕の自然史に基づく予防段階を説明できる。 8)齲蝕活動性試験を説明できる。 9)齲蝕の発生要因に基づく予防を説明できる。					
キーワード	齲蝕、表層下脱灰、再石灰化プロセス、宿主要因、微生物要因、飲食物要因、環境要因、社会環境、疾病予防レベルの3相5段階、齲蝕リスクの早期発見のための検査・診断、齲蝕感受性、齲蝕活動性、宿主対策、病原菌対策、食事要因対策、齲蝕活動性試験、リスク診断、予防填塞(シーラント)					
担当	宋文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p35~47、p148~151					
コアカリ(令和4年)	D-3-2-1,D-5-1-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-2-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_008_6/15_3	2026/06/15	3		講義	32番教室	60
ユニット	齲蝕の予防					
サブユニット	フッ化物の応用法と齲蝕予防機序					
授業目標	1)フッ化物の概要(フッ化物応用の歴史)を説明できる。 2)フッ化物応用法(全身応用、局所応用法)を説明できる。 3)フッ化物による齲蝕予防機序を説明できる。 4)フッ化物の代謝を説明できる。 5)過量フッ化物の為害作用を説明できる。					
キーワード	フッ化物全身応用方法、局所応用方法、齲蝕予防メカニズム、フルオロオパタイトの生成、結晶性の向上、再石灰化の促進、酵素活性と細菌の抑制、フッ化物の吸収・代謝、急性中毒、慢性中毒					
担当	宋文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p48~56					
コアカリ(令和4年)	D-3-2-1,D-5-1-2					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ-a,各論Ⅱ-1-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_009_6/15_4	2026/06/15	4		講義	32番教室	60
ユニット	齲蝕の予防					
サブユニット	フッ化物による齲蝕予防法とその効果、フッ化物の濃度と量					
授業目標	1)フッ化物配合歯磨剤の使用方法を説明できる。 2)フッ化物洗口を分類し応用方法を説明できる。 3)集団フッ化物洗口の利点を説明できる。 4)フッ化物歯面塗布法の詳細を説明できる。 5)フッ化物局所応用法の齲蝕予防効果を説明できる。 6)フッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口液、フッ化物歯面塗布剤の使用量からフッ化物量を計算できる。					
キーワード	フッ化物配合歯磨剤のフッ化物種類(フッ化ナトリウム、モノフルオロリン酸ナトリウム、フッ化第一スズ)、効果的なフッ化物配合歯磨剤の使用量、フッ化物洗口、集団フッ化物洗口、家庭内フッ化物洗口、週1回法、毎日法、フッ化物歯面塗布剤(NaF、APF、SnF2)、塗布剤剤型(溶液・ゲル・フォーム)、塗布法(綿球法、歯ブラシ法、トレー法)、歯面塗布の術式、フッ化物濃度、フッ化ナトリウム含有量の計算					
担当	宋文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p155~159					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-2					

国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ-a,各論Ⅱ-1-イ-c
--------------	-------------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_010_6/22_2	2026/06/22	2		講義	32番教室	60
ユニット	齲蝕の予防					
サブユニット	齲蝕予防効果の評価と齲蝕を評価する指数					
授業目標	1)齲蝕経験を説明できる。 2)齲蝕経験に関する指数を計算できる。 3)RID指数を説明できる。 4)齲蝕抑制率を計算できる。					
キーワード	齲蝕経験、齲蝕有病者率、齲蝕経験歯率、齲蝕経験歯面率、処置歯率、一人平均齲蝕歯数、DMFT、DMFS、dmf、def、df、RID指数、齲蝕抑制率					
担当	宋文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p123~125					
コアカリ(令和4年)	C-6-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ-a,各論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_011_6/22_3	2026/06/22	3		講義	32番教室	60
ユニット	地域口腔保健					
サブユニット	母子の口腔保健					
授業目標	1)地域口腔保健の意義を説明できる。 2)妊産婦の口腔保健を説明できる。 3)妊産婦の歯科健康診査と歯科保健指導を説明できる。 4)乳幼児の口腔保健を説明できる。 5)乳幼児の歯科健康診査と歯科保健指導を説明できる。					
キーワード	PDCAサイクル、母子保健法、妊産婦歯科健康診査、1歳6か月児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査、診査票、問診項目、危険因子、齲蝕罹患型、齲蝕罹患型別保健指導、フッ化物応用					
担当	川村和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p204~244					
コアカリ(令和4年)	C-5-5					
国試出題基準(令和5年)	必修3-イ-b,必修3-ウ-a,必修3-ウ-b,総論Ⅰ-2-7-a,総論Ⅰ-2-7-b,総論Ⅰ-2-7-c,総論Ⅰ-2-7-d,総論Ⅰ-2-7-e,総論Ⅰ-2-7-f,総論Ⅰ-2-7-g					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_012_6/22_4	2026/06/22	4		講義	32番教室	60
ユニット	地域口腔保健					
サブユニット	学校での口腔保健					
授業目標	1)学校保健の意義を説明できる。 2)学校保健の領域を説明できる。 3)学校歯科保健の現状を説明できる。 4)学校歯科医の職務を説明できる。 5)学校歯科健康診断を説明できる。 6)学校での歯科疾患予防対策を説明できる。					
キーワード	学校保健安全法、学校保健統計調査、学校歯科医、学校歯科保健管理、健康診断、保健調査票、児童生徒健康診断票、CO、C、GO、G、O、△、/、ZS、事後措置、歯の歯節、マウスガード					
担当	川村和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p245~264					
コアカリ(令和4年)	C-5-5					
国試出題基準(令和5年)	必修3-イ-c,必修3-ウ-a,必修3-ウ-b,総論Ⅰ-2-イ-a,総論Ⅰ-2-イ-b,総論Ⅰ-2-イ-c,総論Ⅰ-2-イ-d,総論Ⅰ-2-イ-e,総論Ⅰ-2-イ-f,総論Ⅰ-2-イ-g					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

S3301_013_6/29_2	2026/06/29	2		講義	32番教室	60
ユニット	地域口腔保健					
サブユニット	成人・高齢者・障害児者、職域での口腔保健					
授業目標	1)成人保健に関連する法律を概説できる。 2)成人の口腔保健状況を説明できる。 3)成人の口腔保健事業を説明できる。 4)産業歯科保健の意義を説明できる。 5)産業歯科保健対策を説明できる。 6)職業性口腔疾患を説明できる。 7)高齢者歯科保健の意義を説明できる。 8)介護保険を概説できる。 9)高齢者口腔保健事業を説明できる。 10)障害者の歯科保健の意義を説明できる。 11)障害者口腔保健の現状を説明できる。 12)障害別口腔内特性を説明できる。					
キーワード	高齢医者医療確保法、健康増進法、歯科口腔保健法、歯周疾患検診、健康日本21(第2次)、特殊健康診断、歯の酸蝕症、黄色環、磨耗症、いわゆる菓子屋齲蝕、介護保険法、介護サービス、要支援者、要介護者、地域支援事業(口腔機能の向上)、予防給付、介護給付、障害者総合支援法、口腔保健センター、					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p265～303					
コアカリ(令和4年)	C-5-5					
国試出題基準(令和5年)	必修3-イ-d,必修3-イ-e,必修3-イ-f,必修3-ウ-a,必修3-ウ-b,総論I-2-I-a,総論I-2-I-b,総論I-2-I-c,総論I-2-オ-a,総論I-2-オ-b,総論I-2-オ-c,総論I-2-オ-d,総論I-2-ウ-a,総論I-2-ウ-b,総論I-2-ウ-c,総論I-2-ウ-d,総論I-2-ウ-e,総論I-2-ウ-f,総論I-2-ウ-g,総論I-2-カ-a,総論I-2-カ-b,総論I-2-カ-c,総論I-2-カ-d,総論I-2-カ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_014_6/29_3	2026/06/29	3		実習	基礎実習室1	60
ユニット	予防歯科学実習					
サブユニット	齲蝕活動性試験					
授業目標	1)唾液流出量試験を実施し評価できる。 2)RDテストを実施し評価できる。 3)唾液緩衝能試験を実施し評価できる。					
キーワード	唾液流出量、RDテスト、唾液緩衝能					
担当	山本 龍生,川村 和章,宋 文群,持田 悠貴					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p148～150					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-5					
国試出題基準(令和5年)	各論II-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_015_6/29_4	2026/06/29	4		実習	基礎実習室1	60
ユニット	予防歯科学実習					
サブユニット	口腔内診査・口腔保健指導					
授業目標	1)OHIとOHI-Sの診査ができる。 2)歯垢を染め出してPCR診査ができる。 3)口腔清掃を動機づけすることができる。 4)口腔清掃指導ができる。					
キーワード	OHI、OHI-S、PCR、口腔清掃指導					
担当	山本 龍生,川村 和章,宋 文群,持田 悠貴					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p130～134					
コアカリ(令和4年)	C-6-1-3					
国試出題基準(令和5年)	総論I-6-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

S3301_016_7/6_2	2026/07/06	2		講義	32番教室	60
ユニット	歯周病の予防					
サブユニット	歯周病の予防					
授業目標	1)歯周組織の常態を説明できる。 2)歯周組織の病態を説明できる。 3)歯周病の主因子と局所性修飾因子を説明できる。 4)歯周病の全身性修飾因子を説明できる。 5)歯周病の遺伝的背景を説明できる。 6)歯周病の検査を説明できる。 7)歯周疾患の予防と管理をの一般的事項を説明できる。 8)「つまようじ法」の効果を説明できる。					
キーワード	歯周組織、歯肉炎、歯周炎、ステージ分類、グレード分類、歯周ポケット、歯槽骨吸収、歯周組織検査、一次予防、二次予防、三次予防					
担当	山本 龍生					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p57～68、p160～166					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-1					
国試出題基準(令和5年)	必修6-イ-c,必修8-キ-c,必修9-オ-b,総論Ⅲ-2-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_017_7/6_3	2026/07/06	3		講義	32番教室	60
ユニット	口臭、その他の口腔疾患の予防および禁煙指導					
サブユニット	口臭、その他の口腔疾患の予防および禁煙支援					
授業目標	1)口臭の分類と原因物質、その予防が説明できる。 2)歯の酸蝕症の概要とその予防が説明できる。 3)歯の外傷の概要とその予防が説明できる。 4)口腔粘膜疾患・口腔がんの概要とその予防が説明できる。 5)不正咬合の概要とその予防が説明できる。 6)顎関節症の概要とその予防が説明できる。 7)禁煙支援が説明できる。					
キーワード	口臭予防(生理的口臭、病的口臭、心因性口臭、官能検査、ガスクロマトグラフィー、口腔清掃指導、舌苔除去、唾液分泌減少、揮発性硫黄化合物、硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイド、アセトン、アンモニア、禁煙、カウンセリング)、歯の酸蝕症、外傷、口腔粘膜疾患・口腔がん、不正咬合、顎関節症					
担当	持田 悠貴					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p69～83、p167～171、p184～190					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-5					
国試出題基準(令和5年)	必修9-オ-h,各論Ⅲ-5-イ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S3301_018_7/6_4	2026/07/06	4		講義	32番教室	60
ユニット	口腔疾患の疫学					
サブユニット	口腔疾患の疫学					
授業目標	1)歯周病の指標が説明できる。 2)歯科疾患実態調査が説明できる。 3)学校保健統計調査が説明できる。 4)国民健康・栄養調査が説明できる。 5)口腔と全身の健康との関係が説明できる。					
キーワード	歯周病の指標、歯科疾患実態調査、学校保健統計調査、国民健康・栄養調査、口腔と全身の健康					
担当	持田 悠貴					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p125～130、p136～145、p84～96					
コアカリ(令和4年)	C-6-2-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅰ-6-ア-a,総論Ⅰ-6-ア-e,総論Ⅰ-6-イ-a,総論Ⅰ-6-ア-d,総論Ⅰ-6-ア-f,総論Ⅰ-6-ア-b,総論Ⅰ-6-ウ-b,総論Ⅰ-6-ウ-a,総論Ⅰ-6-ア-c,総論Ⅰ-6-イ-b,総論Ⅰ-6-イ-a,総論Ⅰ-6-イ-b					